



市民が憩える美しい公園へ

～瀬戸桜公園に桜とアジサイを植える

昨年完成した瀬戸桜公園に2月17日、新たにソメイヨシノ38本、ヒカンザクラ1本、シダレザクラ3本が仲間入りしました。植樹の募集に賛同し、寄付をいただいた39の個人・団体の方が参加して記念植樹が行われました。

また、19日には、市民から提供された大小合わせて500本のアジサイが植栽されました。この日は、苗を提供していただいた方や植栽作業のボランティアなど60人が参加。それぞれが一本一本、肥料や水を与えながら丁寧に植えていました。

今回の植樹で瀬戸桜公園の桜の木は全部で121本、瀬戸公園の150本と合わせ、桜の一大名所となります。6月頃には色とりどりのアジサイも楽しめることでしょう。



子どもたちに美しいふるさとを

～金山で校区植樹祭

第9回校区植樹祭が1月27日、金山センター前で開催され、ソメイヨシノ4本が植樹されました。

この活動は、財団法人がごしまみどりの基金が行っている緑の募金運動をもとに、地球温暖化の防止のほか、地域住民が参加する地域にふさわしい特色ある緑づくりを進めることを目的として行われています。

この日参加したのは金山校区公民館、金山小全校児童、PTA、市みどり推進協議会など約100人。児童たちもスコップを手に、懸命に木の根に土をかぶせていました。

安全・安心の上水道施設が完成

～牧園地区上水道施設竣工式

牧園地区に上水道施設が完成し、2月6日に竣工式が行われ、地元の方や関係者が参加し完成を祝いました。

牧園地区は、これまで独自で水道組合を組織し水道を運営していましたが、濁水や水質悪化の問題が起り、上水道管の整備を市に要望していました。今回整備されたのは、ポンプ場、配水池、集中監視装置などで、総工費約1億2千万円。牧園地区の74戸に供給されます。

式では、牧園公民館長の牧野功さんが、「濁水などにより生活に影響が出ていた。立派な施設を整備してもらい大変ありがたい」とあいさつされました。



「幸せだなあ」と言える家庭づくりを

～まくらざきハーモニーフェスティバルで講演会

サン・フレッシュ枕崎で2月3日に開催され、約200人の市民らが参加しました。会に先立ち、「ちゃんサネ」こと實吉国盛さんが男女共同参画の応援歌を披露。軽快な曲調で参加者たちを楽しませました。

講演会は、熊本県人吉市で地域の人たちが地産地消を目指して開店したレストラン「ひまわり亭」を主宰する本田節さんを講師に開催。ご自身の体験などから「ボランティアは自分のため、『やらせていただいている』という心構えが必要」「お互いが支えあって幸せだと言えることが大事」と、女性や高齢者も地域を担っていく男女共同参画社会の重要性を語りました。



各学校とも持ち味を十分に発揮

～第20回枕崎市表現・ダンス発表会

表現・ダンス発表会が2月22日、市民会館で開催され、市内の小・中学校から305名の児童生徒が出演し、創作ダンスなどを発表しました。

各学校がそれぞれのテーマについて、身体を思い切り使い、いきいきと表現。枕崎中3年生17名による表現ダンス「仮面がはずれる時…」(写真)では、静と動をうまく組み合わせて、人の内面の苦しみをよく表現していました。講師の鹿児島女子短期大学・小松恵理子教授は、「全体的によく練習してよかった」としながらも「リズムダンスが多かったが、一つの題材にしぼっての表現ダンスに期待します」と今後の課題を語っていました。



沿道からの大声援が選手たちの力に

～第55回県下一周駅伝

第55回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月16日から20日まで、県内全域を舞台に行われました。

初日は枕崎市を通過。第8中継所の市役所前にはたくさんの方が駆けつけ、川辺チームへはもちろん、たすきをつなげようと懸命に走りこんでくる選手たちへ惜しみない拍手を送りました。また、ハーモニーネットワークから茶節と腹皮のから揚げなどが振舞われ、走り終えた選手たちの労をねぎらいました。

盛大な応援に後押しされ、川辺チームは3位に入り、第38回大会以来のAクラス入りという快挙を達成しました。



生涯現役・生きがい農業をめざして

～消費者と生産者結ぶ「青空市」を開催

桜馬場地区農産物生産出荷協議会が2月16日、Aコープ立神店前の駐車場で直売イベントを行いました。同協議会は、かねてから自分たちで作った野菜などを販売するコーナーを設け、買い物客から喜ばれています。

代表の天達勇会長から「高齢者が生きがいを持って取り組んでいます。安心安全な地元の野菜を食べてください」とあいさつがあり、冷たい風が吹く中、かけつけた方たちが、早速買い求めていました。

また、地元のもち米を使ったつきだての餅やぜんざいも振舞われ、餅つきに参加してた立神小の子どもたちの元気な歓声が響き、予定していた200食はあっという間になくなりました。



おもてなしの心とやさしい笑顔で好印象を

～市観光協会接遇研修会

市観光協会主催による接遇研修会が2月13日、地場産業振興センターで開催され、旅館業組合、お魚センターや薩摩酒造などから約30人が参加しました。

講師にマナーアドバイザーの丸井ゆかりさんを迎えて、約2時間みっちり研修。接客態度の重要性、あいさつの基本、言葉づかいなどの学習をとおして、観光客に対するおもてなしの心を育む研修会となりました。

市観光協会では、観光などに携わる方たちを対象に毎年この研修を行っています。一人ひとりが枕崎の顔としてこれからも頑張ってください。